

HSK

あすなろ

昭和48年1月13日
第三種郵便物認可
HSK 通巻 423 号
発刊:平成19年

6月10日
毎月10日発行
編集:あすなろ会
発行:北海道身体障害者
団体定期刊行物協会

◆◆◆ 個人参加難病患者の会 ◆◆◆ 会報123号



北海道難病連のスローガン

- ☆ 国と道は、原因の究明と治療法の確立を急いでください！！
- ☆ 全ての難病の治療を公費負担にしてください！！
- ☆ 介護手当の支給と通院交通費、付添費の補助を！！
- ☆ 患者、障害児者の教育の選択権を親と子に！！
- ☆ 医療過誤、薬害を無くし被害者救済を！！
- ☆ 北海道の総合的な難病対策の確立を一日も早く！！
- ☆ 広く道民と手を結び、明るい福祉社会を実現させよう！！



目 次

会長メッセージ	1
2007 年度定期総会	3
総会（交流会）に参加して	16
今年的全道集会は札幌です！	19
第1回事業資金委員会からの報告	21
無年金障害者訴訟控訴審傍聴記	23
シリーズ【病氣】天疱瘡	25
お礼とお願い	27
広瀬さんの美味しいクッキング	28

個人参加難病患者の会
あすなる会（個人参加患者会）

成田愛子

2007年度総会が5月27日（日）午後1時より難病連センターで開かれました。議長選出の後、討議が行われました。

2006年度収支決算内容についての承認が行われ、次いで事務局から2006年度全道集会・医療講演会・交流会についての報告があり、無事総会が終了されました。

広岡篤美氏との交流会



タイトル 『医師に聞きたいこと、聞けること』

時間 午後2時15分～4時30分

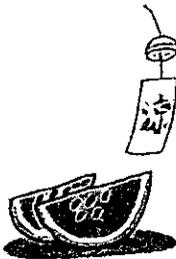
参加人数 20名

広岡さんとの1：1の交流。個人的に困っている事を勇気を出して声にしてお話し、とても良かったです。病気の悩み、医師との関係、病名は違っても痛みは同じ苦しみ、自分の事のように聞き入ってしまいました。皆さん申し訳ありません時間がない・短い・・・！！

次回また企画をお願い致します。

あすなる会を一人一人が前向きで歩んで楽しく過ごしましょう。

2007年8月4日～5日 全道集会にて会いましょう。



患者会は何をするところ

1. 病気を正しく知ろう

多くの患者に会っていて、自分の病気を正しく知らない、薬も何を飲んでいるのか分からないという人がいますが、まず、自分の体をよく知ることが大切です。そして病気の性質をよく理解しなければなりません。

病気をよく知ると、現在のことばかりでなく、将来何ができるのか、自分に残された可能なことは何かを知ることでもあります。患者会はそのために、医療講演会や相談会を開いたり、会報などで知らせたり、患者会の集まりで、会員同志の情報交換や経験の交流をしたりするのです。

2. 病気にまけないように

病気をよく知ったり、治療についてよくわかっていても病気に立ち向かう、という勇気や病気と一緒に生活していこうという広い心を持っていないければ病気に負けてしまいます。多くの患者会は同病者の自殺や一家心中という不幸な事件をきっかけに、“これではいけない、仲間どうし励まし合おう”として結成されてきました。

3. 本当の福祉社会をつくるために

踏まれた痛さは、踏んでいる人には分かりません。本当は医療が必要になって医療の有り難さが分かります。福祉の援助が必要になってはじめて、その必要が分かると同時に、なんと私たち難病患者にはこんなにも多くの困難があり、その解決の方法をこの社会は持っていないか、ということが分かります。今の日本では大きな壁がいくつも目の前に立ちはだかっています。そこで私たちは集って、この壁のあることを、多くの国民に知ってもらい一緒に取り除くことを呼びかけなければなりません。それには、私たちの経験を具体的に知らせるのが一番よく理解をしてもらえる方法なのです。

☆☆☆☆☆ 2007年度 ☆☆☆☆☆

個人参加難病患者の会（あすなろ会）定期総会

日時 2007年5月26日（土）午後1時より

場所 北海道難病センター 3階 会議室



2007年度 定期総会次第

開会の辞 午後1時

会長挨拶 成田愛子

来賓ご挨拶 (財)北海道難病連常任理事 梁田剛様

1,総会議事

議長選出

2006年度活動報告、2006年度会計報告、同 監査報告

2007年度役員(案)、2007年度活動(案)、2007年度予算(案)

その他

(休憩・会場準備)



2,医療相談会・交流会 午後2:15より

～医師に聞きたいこと・聞けること～

アドバイザー 医療ソーシャルワーカー

広岡篤美様

(病院馴れしている?私達でも、医師に聞いてよいか、あるいはどのように聞けばよいのかためらうことが多いです。他にもソーシャルワーカーさんにお尋ねしたいこと何でもお聞きし、併せて交流いたしましょう。)

2006年度活動報告

- | | | | |
|---------|--------|------------------|-----------|
| ◎ 定期総会 | 6月3日 | 20名 | |
| ◎ 役員会 | 5月12日 | 5名、 | 6月24日 4名 |
| | 9月9日 | 5名、 | 11月12日 5名 |
| | 2月19日 | 5名 | |
| ◎ 会計監査 | 5月12日 | 5名 | |
| ◎ 会報 | 119号 | 6月24日編集4名 | 6/10発行 |
| (あすなろ) | 120号 | 9月9日編集 5名 | 9/10発行 |
| | 121号 | 11月12日編集5名 | 11/10発行 |
| | 122号 | 2月17日編集5名 | 2/10発行 |
| ◎ 医療講演会 | 6月3日 | 『医療から見る憲法』 | |
| | | 升田和比古 先生 | 20名 |
| | 8月6日 | 『みえること≠わかること』 | |
| | | 梶田 哲 先生 | 30名 |
| ◎ 医療交流会 | 10月21日 | サルコイドーシス交流会 | 17名 |
| | | アドバイザー 四十坊 典晴 先生 | |
| ◎ 交流会 | 6月3日 | 総会後の交流会 | 20名 |
| | 7月22日 | ビアガーデン交流会 | 5名 |
| ◎ 年賀状 | 12月20日 | | |

難病連など会議・行事参加

- ◎ 定期総会 5月13日 3名
- ◎ 理事会 7/8日、9/23日、11/18日、2/3日
- ◎ 事業資金委員会 6/1日、9/5日、10/26日、1/25日
- ◎ 合同レク実行委員会 11/30日、2/8日
- ◎ 北海道無年金障害者をなくす会 提訴5周年の集い 7/3日 3名
- ◎ 第33回難病患者・障害者と家族の全道集会（帯広）8/5～6日

『誰もが安心して暮らせる医療と福祉社会を 十勝から』 15名

暑さの中、広大な十勝の地での
印象深い大会でした。

- ◎ 難病センター秋まつり参加（十勝の産物） 10/7日 5名
- ◎ チャリティークリスマス（京王プラザホテル） 12/16日 6名
- ◎ 札幌支部役員研修会 1/13～14日 2名
- ◎ チャリティーバザー 3/3～4日 延べ5名
- ◎ 経理打合わせ 3/14日 2名
- ◎ 実務担当者会議 3/17日 1名
- ◎ 学生無年金障害者訴訟控訴審傍聴 2～3名

（無念の不当判決、裁判は最高裁に係属します）

部会名 個人参加部会

2006年度 積立金明細書

項目	金額(円)
前年度繰り越し積立金額合計	100,050
今年度積立額合計(+)	200,000
今年度積立金取崩額合計(-)	100,050
次年度繰り越し積立金額合計	200,000

積立金内訳 (年度末の金額)

積立金の名称	金額(円)	保管状況
全道集会 積立金	120,000	金融機関名 <u>北海道銀行</u> ①普通預金 ②定期預金
橋本森カシ 積立金	80,000	金融機関名 <u>北海道銀行</u> ①普通預金 ②定期預金
		金融機関名 ①普通預金 ②定期預金
		金融機関名 ①普通預金 ②定期預金
		金融機関名 ①普通預金 ②定期預金
		金融機関名 ①普通預金 ②定期預金
		金融機関名 ①普通預金 ②定期預金
合計	200,000	

財団法人 北海道難病連 部会会計監査報告書

部会長 様

記

1. 部会名 個人参加部会

2. 2006年度 部会決算報告書

上記の件について、厳正なる監査の結果、適正であることを報告いたします。

H19年 4月 14日

部会会計監査

氏名 渡辺 貢 一



氏名

印

2007年度役員(案)

会 長	成 田 愛 子
事 務 局	柳 弘 子
事業資金委員	佐 古 則 子
合同レク委員	大 野 みずほ
会 計	浜 田 まり子
会 計 監 査	渡 辺 貢 一
運 営 委 員	斉 藤 安 正 ・ 白 井 基 子
難 病 連	理 事 柳 弘 子
	評 議 員 成 田 愛 子 ・ 渡 辺 貢 一

皆、患者であって、それぞれ事情のある中の役員です。

少しでもお手伝いして下さる方歓迎です。会報作り、講演会準備等運営に参加して下さいませんか！！



2007年度活動予定(案)

あすなる会

- ◎ 定期総会 5月26日
 - ◎ 役員会 年5回予定
 - ◎ 会報 年4回発行(あすなる123号～126号)
 - ◎ 医療講演会 8月5日(全道集会分科会)、10月頃(詳細未定)
 - ◎ 交流会 5月26日(総会后、兼相談会)、
ビアガーデン(8月4日予定)、
サルコイドーシス(未定)、その他
-

難病連会議・行事参加

- ◎ 定期総会 5月12～13日
- ◎ 理事会 4/7日、7/21日、9/8日、11/17日、2/2日
- ◎ 事業資金委員会
- ◎ 合同レク委員会
- ◎ 第34回全道集会(札幌) 8月4～5日
- ◎ JPA 全国一斉街頭署名 9月29日
- ◎ 難病センター秋まつり 10月6日
- ◎ チャリティークリスマス 12月16日
- ◎ 各地区役員研修会
- ◎ チャリティーバザー 3月1～2日
- ◎ 経理打合わせ・実務担当者会議 例年通り
- ◎ その他 請願・署名活動

る肝炎の治療に入るために出席は出来ませんが、頑張ってくれると思います。

札幌市 (橋本病) いつも、HSK あすなろが届くのを楽しみにしています。編集の方々は大変だと思うのですが、読ませていただくと一人ではない、仲間がいるという安心感を感じます。今回は家から出るのがおっくうで、身体が(しんどい、すぐ疲れる)変に痛み欠席させていただきますが、よろしくお祈いします。皆様お身体大切にしてください。

札幌市 (表皮水疱) いつも不参加で申し訳ありません。

千歳市 (サルコイドーシス) 参加できなくて申し訳ありません。こまかい部分で少し大変になりつつあります。しかし、いろいろやれてるうちは全力で!

札幌市 (サルコイドーシス) ひとりはおみんなのために。
みんなはひとりのために。
今年も私の願いです。

厚岸町 (エキノコックス) 四月に入っても毎日肌寒い日が続いていますが、皆様お体の調子はどうでしょうか。私はお蔭様で風邪もひかずに冬をのりこえ元気なので出席したいと思います。

室蘭市 (橋本病) これから宜しくお祈いいたします。

函館市 (スモン) 妻 昨年秋より、おちついていたベーチェット病がさわぎだし、血管ベーチェットの症状が下肢に肺にと今も入院、私

おちつかずヘルニアで手術しますが、元気になって活動したいです。

江別市 (橋本病) 平成19年度から参加させていただきます。

札幌市 (キアリ奇形) リハビリの日数制限をもろに受けて大変でした。負けずに頑張ろうと思っても生身の身体にはこたえます。総会で皆様にお会い出来れば元気をもらえる・・・と、期待。

札幌市 (ステロイドホルモン産生異常症) 今年1月に11年近く主治医だった先生が急病で亡くなったショックと、3月になってひいた風邪で返事をするのが遅くなってしまいました。一昨年、去年と大病をしたので、本年は無事に過ごせればと思っております。

帯広市 (天疱瘡) 私達患者は一生苦痛を背負って生きていきます。せめて仲間同志の集まりがお互いの心を開き、そして癒やす会にしましょう。
春はいいですね。フキノトウの天ぷら、うど、せり、三つ葉など自然は素晴らしい。私達の生活ももう少しうるおいがほしいです。今年もあすなる会を楽しくしましょう。

帯広市 (アミロイドーシス) ゆっくりと時間を掛けて出掛けます。初参加楽しみにしています。好天であって欲しい。

札幌市 (大動脈炎症候群) いつもお世話になっております。最近少し体調悪いので、欠席させていただきます。

2007年度あすなろ会定期総会を終えて



難病連からの来賓として、梁田常任理事が参加してご挨拶をいただきました。今の情勢とこれからどう活動すべきかの、励ましをいただきました。

☆ 交流会参加感想文より ☆

ある男性

初参加。意外と出席者が少ないのかナー。何を求めて参画したのか、自問自答した。

「個人情報保護法とか難しい関門がありましようが、機関紙等には、あすなろには、病名は開示しても良いのではないだろうか。個人名は当然に伏せるべきであるが、どの様な病名の方が入会されている位は許されて良いだろうと感じました。出来れば毎号に通常的に掲載を望みます」

機関紙にはシリーズ的情報で、名医の紹介、病院の紹介、治療法（色々あるが）の新しい情報等、講習会の案内（特にあすなろは多彩）などの欄も増して欲しい。

機関紙は出席出来ない人との繋がりで非常に大切な手段、ご苦労は多い

と存じますが、会員方の声が少ない様にも思います。再度、更に呼びかけを強化して欲しいと思ってる1人です。

ありがとうございました。

早川君子(エキノコックス)

皆さんの病気のこと、病院へかかっている様子、そしてそれに対しての広岡先生の返答などを聞き、大変勉強になりました。



私も今日聞いたことを参考にして、これからも病院にかかりたいと思います。今日はありがとうございました。

横山敏男(線維筋痛症)

あすなる会の会長さん、役員の方、あすなる会の会員の皆さんの毎日の生活が穏やかでありますように、体をご自愛ください。

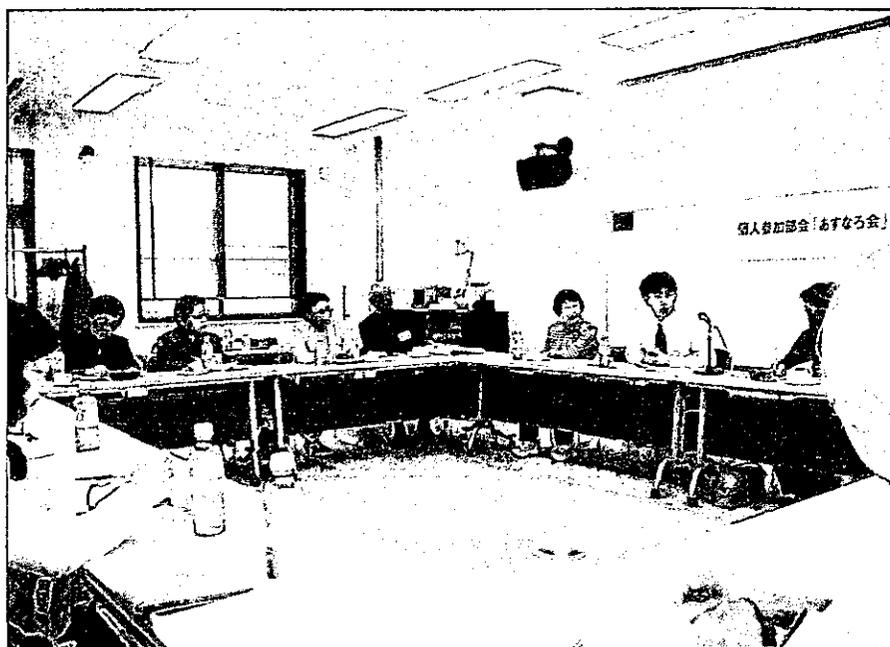
多くの先生のお話をお聞きし、大変勉強になりました。沢山の楽しい思い出と写真をありがとうございました。

S・M(女性 サルコイドーシス)

あすなる会は多くの病気の方がいらして、皆さんそれぞれの症状を持って病気と向き合っているという事をしみじみ感じました。

これからの自分の病気に対しても真剣に取り組んで行こうと思いました。

「なんれん」86号の難病対策の後退を許さない、私たちの運動の成果を読んで、国会請願署名が国会で採択されパーキンソン病、潰瘍性大腸炎の患者さんの切り捨てが食い止められたとの記事を目にして、今後の署名にも力を入れて行こうと決意致しました。



(アドバイザーの広岡篤美氏は医療ソーシャルワーカーとして活躍され、2年前にもあすなる会の講演をしてくださったことがあります。

どの場合も真摯な態度で臨まれ、誠実なお人柄が分ります。今回も、一人一人の質問・疑問に丁寧に答え、説明してくださいました。

広岡様有難うございました。記録を取ったのですが膨大な量になりますので、一部分でも次の号に掲載する予定です。

会員の病気が異なるあすなる会は運営の難しさも多いですが、存在の意味も大きいです。改めて自覚いたしました。 運営委員より)

今年の全道集会は札幌です！

【第34回難病患者・障害者と家族の全道集会】

◇8月4日（土曜日）は全体集会です。

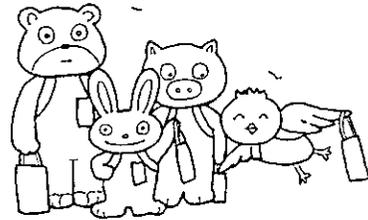
*時刻＝午後1：00～午後3：30分の予定

*会場＝〈かでのホール〉

札幌市中央区北2条西7丁目

（北大植物園の前のビル）

- *主な内容＝①来賓のご挨拶、
②患者・家族の訴え
③記念講演



※記念講演の講師は木村 格（いたる）先生です。

《独立行政法人・国立病院機構宮城病院々長》

《全国難病センター研究会々長》

木村先生は誠実な方であることはもちろん、学識と経験が豊富な先生です。それだけに、どんなお話しをしていただけるのか、とても楽しみです。

◇全体集会終了後は交流と夕食の会にします。地方からお越しの方はお荷物をホテルなど宿泊場所に置いて、5時30分までに大通り5丁目のビアガーデンにお集まりください。

全体集会参加の疲れを冷たいビールで癒して、翌日の分科会のために生氣を取り戻せたら何よりだと思いますが……

◇8月5日（日曜日）は分科会です。

*時刻＝午前9：30分～午前11：30分の予定

（終了後は皆さん一緒に昼食タイムです）

*会場＝かでの2・7の9階 920会議室

*医療講演会＝演題は“睡眠は一番のご馳走”

一体調をよくするための治療法一

※講師は松島純一先生です。

《まつしま耳鼻咽喉科クリニック・

耳なり・めまいクリニック院長》

松島先生は耳鼻咽喉科に限らず、あら

ゆる疾病に共通する〈眠りの問題〉に

取り組んでおられる、とてもユニークな

先生です。

※お手許に郵送される【なんれん臨時号】を
読んで詳細を確認し、申込用紙を使って、
参加の申し込みをしてください。

※参加者にはあすなる会から参加費の助成が
あります。

※年に一度の全道集会と分科会が、あすなる
会員の多数の参加で盛りあがるよう、
心から念願しております。

2007
年 度

第1回事業資金委員会の報告

去る6月5日の午後6時30分より、難病センター3階大会議室で上記の委員会が開かれました。

1) 2006年度【チャリティーバザー】決算報告

3月4日と5日の2日間にわたって難病センターを会場にして開かれました。当初は提供物品が思ったように集まらずはらはらの連続でしたが、最終的には計画以上の提供数でほっとしました。

多数の方がお手伝いに参加していただき、売り場などは順調に回転しました。あすなろ会からは延べ5人が参加しました。

*収支決算=収入の部	売上高	2,159,289円	
	寄付金	22,331円	
	合計	<u>2,181,620円</u>	
	支出の部	合計	<u>989,152円</u>
	収支差額	<u>1,192,468円</u>	★これが純益

2) ビアガーデン利用券の取り組みについて

今年の大通ビアガーデンは7月20日（金曜日）から8月10日（金曜日）までの開催です。

難病連は恒例の5丁目のサントリー・ビアガーデンで、期間中は毎日、昼12時から夜10時までです。

難病連の実施目的は「会員同志の親睦を深め、楽しみながら各部会の活動資金作りをしましょう」ということです。

※ビールは3年連続でモンドセレクション最高金賞を

受賞した《ザ・プレミアム・モルツ》です。

※利用券は額面500円。買上金額5千円ごとにプレ

ミアム・モルツ1杯分の無料券がつきます。

※座席を予約することができます。

あすなる会は8月4日全体集会終了後、交流と夕食の会に集まりましょう。

3) 恒例の【秋まつり】の取り組みについて

10月6日(土曜日)予定で、あすなる会も参加を検討中です。

4) 協力会と募金箱について

二つとも実施目的を再確認することが大切です。

*協力会の実施目的は…①定期・定額の寄付金を募る。

②難病連活動の理解者を一人でも多く募る。

③患者会活動の理解を広げる。

④難病連と部会・支部の活動のための安定した
収入源を確保する。

*募金箱の実施目的は…①難病連と部会支部活動資金源を確保する。

②設置協力先を増やす。

③広く一般の方々に患者会活動のための募金を募る。

*協力会の前年度実績額は5,362,500円でした

*募金箱の前年度実績額は1,659,486円でした。

協力会も募金箱も今年は前年実績を上回る成果を上げたいと思います。

無年金障がい者訴訟控訴審傍聴記（第6回）

あすなる会
渡辺 貢一

3月30日の第6回控訴審（午後3時50分開廷）は、私たちが期待していた原告勝利の判決を待つ傍聴人でほぼ満席でした。しかし、末永裁判長が言い渡したのは「控訴は棄却」、そして「裁判費用は控訴人負担」という最悪の判決でした。法廷指揮の面で手際の良さを見せられ、去年の5月には高次脳機能障害を認め逆転判決を下した例もあって、末永裁判長の人間味には期待していただけに、「後味の悪いどんでん返しの芝居を見せられ、あげくの果てに奈落の底に突き落とされて」完膚なきまで打ちのめされた私でした。

原告はただちに上告し、舞台は最高裁判所に移ります。最後の審判を勝利に導くため、原告を囲む私たちの結束が一段と大切になります。

国民年金法ができたのは昭和34年。この年に学生だった私は国民年金法も任意加入制度もまったく知りませんでした。

ということは私にも学生無年金障害者になる危険性があったということですし、あるいは末永裁判長も私と同様、運よく学生無年金障害者にならずにすんだといえるのではないのでしょうか。

それだけに暖かい思いやりが欲しかったのです。

少数とはいえ制度の谷間に落ちた人がいる現実。“不運”に手を差し延べるセーフティ・ネットを誰よりも裁判官に期待したのです。政治と行政の不作為を正してくれる。これこそ裁判所の役割だと思ったのです。

憲法25条は1項で『すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する』と。さらに2項で『国はすべての生活部面について、社会福祉社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない』と規定しております。末永裁判長と二人の陪席裁判官は、原告の苦境と憲法が定めている『すべての国民が有する権利』と『そのために命じている国の義務』とをどのように考えたのでしょうか。

● そのところが私にはどうしても理解できないのです。

判決理由で「当時の学生の任意加入率が1%ほどだったが、未加入で無年金になったのは加入しないことを選択した者の自己責任だ」としてバツサリ。安全地帯にいる人間の弱者への冷たい視線を見せつけられて私の怒りは燃えたぎるばかりです。

● 一つだけ勉強させられました。権力者には疑う心を忘れずに接してきた私なのに、何と裁判官だけにはうかつにも“高潔な法の番人”と無意識にたてまつっていたことに気がついたのです。

● そして悪いことに私たちは裁判官の選択権は持っていないのです。裁判官も人ですから、“上を見て歩こう”という人も人ものいるでしょう。ただ忘れてならないのは「最近になって正義感が勝っている裁判官より出世主義的な裁判官が目立つ」という、ある弁護士さんの声があることです。私たちは改めて裁判官に冷静な目を向けること、裁判所をもっと身近な存在と認識して、私たちの方を向いた裁判所であるよう働きかけしようではありませんか。

東京の最高裁は遠いです。それだけに【無年金障害者をなくす会】が裁判の進捗状況を適宜流してくれるようお願いしなければなりません。

シリーズ【病氣】天疱瘡

千歳市 S・A

初めまして。

役員の皆様、いつもありがとうございます。

私の病名は、「尋常性天疱瘡」です。

口の中や喉、気管、食道、鼻、肛門などの粘膜に水疱が出たり、皮膚にも水疱が出来ます。

これが破れると「びらん」となって、火傷の後のようになり、痛みも伴います。

私の病名が分かったのは平成5年9月でした。

その何ヶ月か前に突然、口の中の上顎に水疱が出来て、「口内炎かなー」と思って耳鼻咽喉科を受診し、ビタミン剤を処方され服用していたのですが、その内に舌がベロベロと剥け出して、口の中はただれて食事も出来ない状態になりました。

今も口の中はただれた状態です。

3軒の耳鼻咽喉科を受診しましたが、どの先生も同じ診断でした。入院もしました。

そして、体にも水疱が出てきたのです。

初めは小さいのが数個、それが1つになって、だんだん大きくなって行って、潰れてびらんになりました。

火傷の様になって「痛くて!!痛くて!!」。

私の体の殆どが剥けた状態になりました。

少しでも刺激を与えるとすぐ水疱が出来ます。

ようやく大学病院の皮膚科で病名が分かったのです。

則入院、治療が始まりました。

飲み薬はプレドニン60mgからガーゼに軟膏を塗ったので保護して、体中を包帯でぐるぐる巻きでした。

半年位も入院していたと思います。

その後、皮膚の状態も良くなり、飲み薬も減量して退院しました。通院して薬を減らして行くのですが、上手に調整が出来ず、入退院を繰り返していました。

プレドニンと併用していろいろな免疫抑制剤も飲みましたが効果がありません。

血漿交換もしましたが治療中に血圧が急に下がるなど、調子が悪くなり断念しました。

他の人には効く治療が私には、すべて効果がありませんでした。現在はプレドニン20mgを服用して落ち着いています。

そのほかに入院中、薬の量が多かったので右目が網膜剥離になり、レーザー手術をしました。

今度は、左目が白内障が進んで今年中に手術をする予定です。

年に一度、整形外科で骨の検査。

C型肝炎も見つかり、その治療もしています。

10年以上も前にこの病名を告げられ、「難病です」、「一生、治らないので上手に付き合ってください」と言われた時は、ショックで泣いてばかりいました。

本当、こんなに涙って出るんだなあって。溢れるように。

今もいろいろあるけど、自宅で生活が出来ている事に感謝をしています。

会員の皆様も無理をせず、お体を大切に。

お礼とお願い

つぎの方からご寄付・ご寄贈をいただきました。有難うございます。

T・広岡様、 H・Y様、 T・横山様

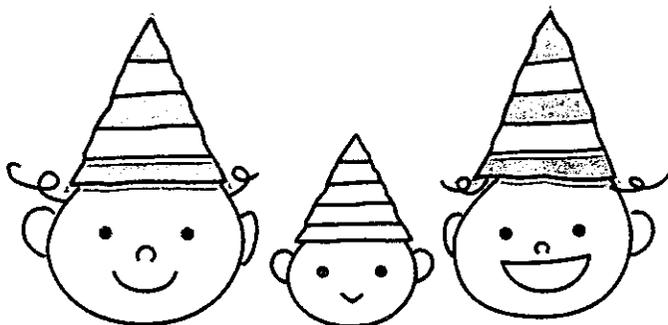
2007年度会費納入のお願い

早や、このお願いをする時期となりました。

北海道の財政も厳しく、団体育成助成金（道助成金）も2回に分けて支給されるという状況です。あすなる会役員は必死に節約を重ねて年度を越しました。今年の新しい行事も始まっています。

会の財政を支えるのは一番に皆様の会費です。どうか早い時期の納入をお願いいたします。振り替え用紙を同封いたしますので、郵便局からの振り替え納入をお願いいたします。

なお、総会時に納入くださいました会員の方は有難うございました。



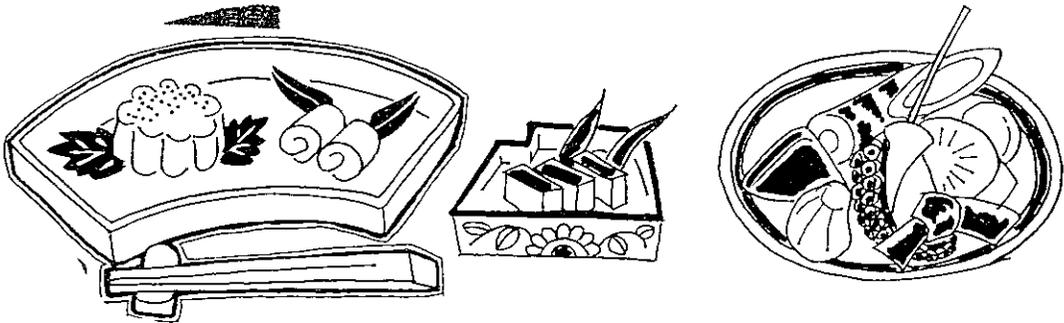
つくだ煮風

材料

花かつお	100 g
ちりめんじゃこ	100 g
塩こんぶ	100 g
白ごま	100 g
砂糖	200 g
しょうゆ	100 c c
酢	100 c c

作り方

- ① 花かつお、ちりめんじゃこ、塩こんぶ、白ごまを大きなボールに入れて混ぜておく。
 - ② 別に砂糖、しょうゆ、酢を混ぜる。
 - ③ ①と②を混ぜて出来上がり。
- ※ おにぎりの具、冷やっこ、野菜などに混ぜても良い。



◎ 会費納入のお願い ◎

平成19年度『あすなろ会』会費をまだ振り込まれていない方がおりましたら、早めに振り込んで下さいますようお願いいたします。

会費 2,400円 賛助会費 2,000円(会員は必要なし)
あわせて北海道難病連『運営協力会』にご加入下さるようお願いいたします。



www.daij.jp

編集後記

暑さほんやり、湿度じょじょりの日々作業です。でも和気あいまいの
雰囲気はいつも通りで笑ハハ たーっり...皆来てみて! 柳

午後10時~12時は今年度第2回役員会。あわて又いざざり当。

午後10時~2時頃まで「あすなろ123号」の編集作業。あわて又いざざり当。
いつも和気あいまいのふとまじや。次はどなたと一緒に読みな? K.W. fukube

仲間への11月の、始まったの会報作りに参加して、和気あいまいの中で、
楽しい時間を過ごさせて頂きました。白井

窓を覗くと涼しい風が入り、作業も進みます。そろそろ暑さ
夏がやってきます。皆さん、夏バテ、お気を付けて下さいね... 成田

今日は...// 相乗り作業 楽しい...// 予定通り個人の個人々お話し、病いけいけ事
皆人の自分の病いけと共に知ること。生き方は自分で人生け一度 今日明日
前向き。全道集会にて...!! 成田 ☺

編集人 個人参加難病患者の会 昭和48年1月13日 第三種郵便物認可
札幌市中央区南4条西10丁目 難病センター内 (512-3233) HSK423号
発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 細川久美子
あすなろ123号 (毎月1回10日発行) 1部100円 (会員は会費に含まれる)